

フォトキナ・プレゼンテーション

2010年4月12日(月)

リッツカールトン 東京

ケルンメッセ会社

副社長 オリバー・クアト

ご来席の皆さま、

ケルンメッセを代表しまして、本日の記者会見にご来席いただいたことに、心からお礼申し上げます。ご覧いただいたビデオがはっきりと示しているように、2008年のフォトキナは、写真を撮ることの純粹なすばらしさを明確にしたと思います。これはメッセ期間中、毎日、どの展示ホールでも、またどの展示ブースでも感じられました。そして私たちは今年もまた立証しようと思っています。そして今日は皆様に、2010年のフォトキナの最新情報をお伝えいたします。

まず最初に、一番重要なメッセージから始めましょう。もちろん今年も、世界の写真・イメージング業界の主要企業は全て、2010年9月21日(火)～26日(日)に開催される第31回フォトキナに出展します。

ここ数か月間、業界の主要企業と協議しましたが、すべての企業が2010年のイベントの中で、フォトキナの優先順位は絶対に一番だと述べています。トッププレイヤーは全て出展し、数社例を挙げるだけでも、フジフィルム、キャノン、ニコン、オリンパス、ソニー、パナソニック、エプソン、ヒューレット・パカード、サムスン、カシオ、などが参加します。

2010年のフォトキナは、約50カ国から1300社が、それぞれの製品やサービスを公開する予定です。また全世界から15万人以上のビジターが、最新の製品や未来のトレンドの情報を得るため見本市を訪れます。

ここ数年採用してきた、イメージングのワークフローに沿った展示会場の構成は、はっきりと効果が実証されたので2010年も実施します。そのため2010年もまた大企業の多くはホール2、3、4及び5に入ることになります。2010年の展示は、次のように各展示ホールに配分されます。画像の撮影、関連装置、周辺機器、画像の保存は、ホール2、3、4、2、5、7、9です。ホール9では、特にプロカメラマン向けの製品やサービスに焦点を絞ります。その真向いのホール6と7では、エンドユーザーに重点を置いた、イメージのアウトプットとサービスを展示します。最後になりますが重要な分野として、

画像処理がホール4.1の重点テーマとなります。

このようにして、フォトキナ2010は世界のイメージング市場の全体像を描き出します。この事は出展企業側だけの幅広さに言えることではなく、とりわけビジター側のターゲットグループに関しても当てはまることです。というのは、特定のセグメントのビジターだけをターゲットにした他の見本市と異なり、フォトキナの展示は販売会社からイメージングのプロ、エンドユーザーまで、あらゆる人々を対象にしています。これはワールド・オブ・イメージングの独自のセールスポイントであり、この方針は今後も変わりません。

2010年も世界の専門販売企業に対し、見本市訪問の際に必要な最大限の適切なサポートを提供することに関して、また専門バイヤーにフォトキナの質の高いサービスを全面的に信頼していただけることに関しては、私から申し上げるまでもないでしょう。オンラインのチケットショップから、待たないで見本市会場に直接入れるファースト・レーン、市場に影響を与えるあらゆる重要テーマに関して、背景情報を提供するGFKマーケット・ブリーフィングに至るまで、専門販売会社のバイヤーはフォトキナの名高い高水準のサービスを全面的に信頼して利用することができます。

さて皆様、今日は2010年のフォトキナで採用され、見本市の個性をさらに強化するコンセプト上の興味深い変更点も幾つかご紹介します。

フォトキナはこれまでも、イメージングのプロフェッショナルのために力を注いできましたが、これをさらに拡充していきます。ホール1の「ミート・ザ・プロフェッショナルズ」では、特にプロ写真家やイメージングの専門家に向けたプログラムを計画しています。これには例えばコンピューター・ジェネレーティッド・イメージング、略してCGIがあり、これはイメージングの専門家の仕事に、今後数年間で根本的な影響を与えるテーマのひとつです。ホール4.1には「フォトキナCGIソリューション・センター」が置かれ、ここでは、コンピュータグラフィックスにより制作された最高レベルの映像を展示し、関連するノウハウを伝授します。ハードウェアのメーカー、ソフトウェア開発会社、クリエイティブなユーザー、専門販売会社、高レベルの教育を行う機関と共同で、高度な内容のプログラムをつくり、この新しい技術の現状と将来の展望を明らかにします。

このプログラムに加えて、撮影から印刷までのイメージングのワークフローにおける創造プロセスをテーマとする、多くのワークショップ、セミナー、講演会なども開催します。展示会場の中心部に位置するため、展示ホール2から5のカメラやプリンタのメーカーにも近く、プロ用のスタジオ技術やプロ用機材のメーカーがあるホール9もすぐ近くです。

もちろんラージフォーマットやファインアートプリントも、私どもにとっては欠かせない

ものです。それゆえこの分野の製品やサービスを提供する企業も、イメージングのプロやセミプロのエンドユーザーのための展示コンセプトに取り入れます。例えば、様々な高品質のファインアート・プリントペーパーを直接比較し視覚的に体験するという、他に例を見ない機会をフォトキナの来場者に提供します。このようにして各自が、各プリントペーパーの強みを正確に分析し、どのペーパーがどの目的に最適かを定める事が出来ます。

ご出席の皆様、私たちはイメージングのプロに提供するものをアマチュア写真家にも同様に提供したいと思っています。展示ホール5.1の「ミート・ザ・コミュニティーズ・アット・フォトキナ」は、個人の写真ファンや多くの熱心なアマチュア写真家に、意見を交換し、知り合い、議論し、情報を集める場を提供します。ミート・ザ・コミュニティーズはまた、個人のエンドユーザーや趣味の写真家を対象とする、写真フェスティバルの主催者や出版社、諸団体などがプレゼンテーションするマーケット・プレイスとなるものです。特に、フリッカーやフェイスブックから、スタディ VZ、セブンロード、ユーチューブに至る画像のオンライン・コミュニティや、ソーシャル・ネットワークの関係者に、それぞれのユーザーや新たに顧客になる可能性のある人々に対して、プレゼンテーションの機会を与えたいのです。

中央部に位置するアクションゾーンの周辺では、サービス提供会社、コミュニティ運営会社、イベント主催者などが毎日これらの会社のプラットフォームを利用して、数百万に及ぶ写真や動画を交換したり、見せたり、議論するユーザーと、直接コンタクトすることができます。これまでイメージング業界には、ウェブ 2.0 ファンのための、このようなプレゼンテーションと出会いの場はありませんでした。また、コミュニケーションに並行して、情報もおさざりにはなりません。ユーザーにとって緊急性の高いテーマに関するワークショップやプレゼンテーションが、イベントプログラムに加えられています。

さらなるハイライトとしては、フォトキナの新コンセプトとなるアンダーウォーター・イメージング・ワールドがあります。ホール3.1では知識と情報の提供が中心となり、著名な水中写真家らが講演や討論会で、水中写真の正しい技術や、機材、ダイビングスポットなどに関して紹介します。幅広いテーマを準備し、初心者も上級者も水中写真の世界に関心を持てるようにします。これに加えて、出展企業が提供する製品を来場者自身が大きな潜水タンクの中で実際に試せるようにする計画です。

ご来席の皆様、もうひとつの新しいコンセプトがワールド・オブ・イメージングでの様々な写真展です。皆さんご存じのように、フォトキナの中心に位置付けられ、最も重要なのは最終的な製品である写真です。2010年のフォトキナでも、写真のための尽力をさらに強化し、ケルンのフォトキナ会場で新しい高水準の写真展を開催します。このために私たちケルンメッセとドイツ写真工業会は、コンペを行って各組織や団体、協会などに呼び

かけ、フォトキナで展覧会の開催をする組織を募りました。私たちはドイツ写真工業会と一緒に、応募団体の中からフォトキナ2010の会場で開催する写真展を選びます。しかしこれだけでは十分ではありません。というのは、写真展の開催はコストがかかるので、審査員に選ばれた写真展の主催者を支援するため、合計5万ユーロを提供します。これによって、私たちはフォトキナにとって写真が持つ意味を改めて強調し、また同時にテーマと展示をより多彩にし、さらに充実させたいのです。

もちろん、フォトキナの写真展はビジュアル・ギャラリー一抜きには語れません。ビジュアル・ギャラリーの展覧会は何年も前から、フォトドキュメンテーションやフォトデザイン、フォトジャーナリズム、フォトアートまでを鮮やかにつなぐ橋となっています。15の展覧会が一つの会場にコンパクトにまとめられ、このレベルの展覧会がこのような形で行われるのは他のどこにも例がないでしょう。そしてビジュアル・ギャラリーは2010年も、芸術面でのフォトキナのハイライトとなるでしょう。なかでも、エーリッヒ・ザロモン賞を受賞したばかりで、20年前からパリに住んで仕事をし、写真とアートの境界を打ち破る、ミヒヤエル・フォン・グラッフエンリードの作品が展示されます。また、存在感が増しているフォトデザインの分野を代表するのがシュテファネ・ツィルヴェスとトーマス・ヘルブリッヒです。またアメリカのステファニー・シンクレアは、カメラを持ってイラク戦争に行き、心を打つ作品を展示します。この著名な女性写真家は、なかでも恐怖や羞恥、絶望から自分の体に火をつけた女性たちを、感情を揺さぶる写真にしています。これらの作品は心に訴えることでしょう。皆様お分かりいただいたように、2010年のビジュアル・ギャラリーはまた多彩でエキサイティングなものとなります。

「アカデミー・ミーツ・フォトキナ」は、次世代の写真家のための領域です。これは内容的にビジュアル・ギャラリーに近いだけでなく、場所の上でも同じホール1に位置します。

「アカデミー・ミーツ・フォトキナ」は、ワールド・オブ・イメージングの併催イベントとして、何年も前から定着しています。2010年も専門大学や芸術大学の写真専攻の学生や卒業生が応募できることになっています。今年もその中で最も優秀な3人に合計1万5千ユーロの賞金が授与されます。

ご来席の皆様、2008年のフォトキナ以降、私たちが何もしなかったわけではないことが、お分かりいただけたと思います。これまで多くの事を実行し、今後5ヶ月間業界の各企業と協議を続けて、新しいテーマやトレンドをさぐる予定です。そして、これは今から皆様にお約束できるのですが、フォトキナは世界の他のどの見本市にもないほどビジターを夢中にし、感動させ、また素晴らしい雰囲気をかもしだし、他に類例のない形で写真の素晴らしさを体験できるものになるでしょう。

では、9月のフォトキナの際にケルンでまたお目にかかれるのを楽しみにしております。

ご静聴ありがとうございました。

ケルンメッセ株式会社

〒106-0045 東京都港区麻布十番 2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル 7F

TEL: 03-5418-6245 FAX: 03-5418-6246

E-Mail : kmjpn@koelnmesse.jp [http// : www.koelnmesse.jp](http://www.koelnmesse.jp)